

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第189号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月30日 13時00分ごろ	
発生場所	東京都京浜港東京区羽田空港拡張工事現場 (概位 北緯35°33.8′ 東経139°48.7′)	
事故等調査の経過	平成21年7月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第八大福丸 ^{だいふく} 、449トン	
船舶番号、船舶所有者等	131843、新栄汽船有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、石材約800トンを満載し、船首約3.8m、船尾約4.4mの喫水で、羽田空港沖の工事現場に到着後、所定の位置において石材を投入するため右回頭中、平成21年3月30日13時00分ごろ、捨石に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 3 海象：潮汐 ほぼ低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、ほぼ低潮時であったこと、及び石材を約800トン積載していたことから、余裕水深がなかったため、右回頭中に推進器が捨石に接触したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が羽田空港拡張工事現場において右回頭中、余裕水深がなかったため、推進器が捨石に接触したことにより発生したものと考えられる。	